

# 屋根の塗装、外壁の補修、畳の交換も対象

## 上越市も住宅リフォーム促進事業新設へ

朗報です。住宅リフォーム促進事業がようやく上越市でも取り組まれる見通しとなりました。11月1日に行われる臨時議会で今年度の一般会計補正予算が通れば正式に決まります。この事業は、建築需要の低迷に苦しむ市内住宅関係事業者の救済と住宅環境の向上促進を目的に新設されます。市議会の委員会資料に記載された住宅リフォーム事業の概要は以下の通りです。

【事業期間】 受付開始：平成22年11月15日  
受付終了：平成23年3月15日

※ただし、補助予定額に達し次第、受付を終了する。また、平成23年3月31日までに工事を完了することが条件となっています。

【事業費】 5000万円

【予定件数】 530件

【補助率】 対象工事費の20%（20万円以上（消費税込み）の工事が対象）

【補助額】 10万円程度

【対象者】 上越市内に居住している人。定住を目的として空き家住宅をリフォームする



給湯器の設置・改修工事も対象となります。このピラに書いてなくても対象となるものがあります。詳しくは区総合事務所産業建設グループにお聞きください。

場合は、市外に居住している人も対象となります。市税の滞納がないこと、・リフォームする住宅に住宅用火災警報器を既に設置済み、又は本制度で設置することも必要となります。

【対象住宅】 個人所有の住宅で、本人又は家族が現に居住している市内に存する住宅（併用住宅は住居部分のみ対象）。個人が定住を目的として再生する空き家住宅も対象です。

【対象工事】 住宅の増築・一部改築・模様替えなどの住宅リフォーム関連工事。工事の着手は、補助金交付決定通知後とし、事前着工は補助の対象外とする。本制度の補助金交付は、同一住宅について1回限り。

【施工業者】 施工業者は、上越市内に本社を有する法人又は住所を有する個人事業者とする。ただし、市外に本社を有する法人又は個人事業者により建築された住宅をリフォームする場合は、当該事業者も可能。

【受付場所】 建築住宅課及び各総合事務所

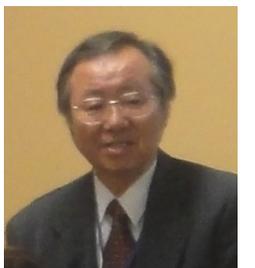
### 【主な対象工事例】

- ・土台・基礎の工事・屋根の葺替、塗装、外壁の補修・ベランダ、風除室等の工事・雪止め金物の設置・内装工事（壁新設、床・壁・天井張替等）・建具の改修、設置・襖の張替、畳の取換・表替・台所、風呂、トイレの改修工事・給水・排水・ガス等の配管の設置、交換・給湯器の設置・改修工事・防犯システム等の設置・改修・アスベスト除去工事・防水・防音工事

### 梶地内の市道に防雪柵

11月1日の臨時市議会で提案される一般会計補正予算のなかに吉川区梶地内の市道に防雪柵を設置する予算が計上されています。

防雪柵が新たに設置されるのは町田梶線の旭地区農業拠点センター前から旧旭小学校の間、約110メートル。予算額は1503万円。地吹雪で通行できなくなる事態はこれらで解消されるでしょう。



【飯塚集落づくり推進員】 10月から吉川区川谷地区を担当する飯塚和憲さん。長年、県土地改良事業団体連合会に勤務された方です。58歳。



シリーズ 上越市内の橋 第51回

深沢2号橋

「深沢2号橋」と書いて「ふかさわにこうきょう」と読みます。大島区内を流れる保倉川にかかった橋で、主要地方道上越安塚柏崎線にあります。写真の中央に見える小さな建物は、「日本のトコロテン」。お盆の帰省客が訪ねたくなる場所のひとつです。懐かしい味を求めて、私も親戚の人たちと何度も出かけています。

橋長は約40メートルあります。竣工は1989年（平成元年）11月です。写真は10月27日撮影。

結婚式を挙げた日を記念日として大切にしている夫婦はけっこういるのではないだろうか。毎回、お連れ合いに花をプレゼントする人がいます。家族連れで食事会を開く人たちもある。記念日の祝い方は様々です。私も五〇代になる頃から結婚記念日を意識するようになりました。もともと、たいしたことはしていませんが……。

私たち夫婦にとつての結婚記念日は一〇月二六日。今年は結婚三五周年でした。金婚式、銀婚式と同じように祝うならば、珊瑚(さんご)婚式ということになるのだそうです。ということ、記念日の数日前までは、「今年は何特別な年だから、奮発してお祝いしよう」と思っていました。ところが、なんということでしょう、忙しい日が続き、二人ともすっかり忘れてしまったのです。

結婚記念日のことを思い出したのは、二六日の午後一〇時頃になってからのことでした。この日は上空に強い寒気が入って急速に冷え込みました。市民プラザでの学習会が終わって、二人で家に向かって車を走らせていた時、妻が言いました。「きょうあたり、山では雪が降ったかもね」と。「山に雪が降った」その言葉ですぐに浮かんだのは、新婚旅行の最終日、雪でたいへんひどい目にあつたことです。「あつ、そうだ。きょうは結婚記念日だった」。一日が終わろうという時間帯になって、ようやく思い出したのでした。

私たちが結婚式をあげたのはいまから三五年前でした。青年団の仲間たちが実行委員会を結成し、会費制の結婚式を挙げてくれました。会場は吉川町総合センター(当時)。そこで結婚式と披露宴を行ったのは私たちが初めてだったと記憶しています。

結婚披露宴では、友人の一人が、私たちの子ども時代から大人になるまで、さらに二人が出会って結婚するまでの歩みをスライドで紹介してくれました。すぐ下の弟と一緒に雪だるまをつくった小学時代の私はまんまる顔、みんなが注目して見てくれました。新郎新婦への質問コーナーでは、いじわる質問も用意してありました。「新郎におたずねします。婚前交渉はあつたでしょうか」との質問に答えようとした直前、県内のある銀行に勤務していた高校時代の友人、S君が大きな声で言ったのです。「もちろん!」。これにはまいりました。親戚の人たちもハッスル、演歌が得意の後生寺の叔父は細川たかしの「心のこり」を歌って盛り上げてくれました。

さて、雪の話です。私たちの新婚旅行は三泊四日の旅でした。最終日、四日目の朝、信州上田の菅平高原の小さなホテルを出ようとしたら、外は一面銀世界です。普通タイヤをはいた車に乗って行ったので、スノータイヤを購入しはき変えなければなりません。困ったのは私です。旅行費用として持参したお金では間に合いません。妻からもカネを出してもらって何とかその場をしのぎました。

新婚旅行は南麓輪村のスポーツ施設を見せてもらったり、紅葉の終わった蓼科高原を歩いたりした楽しい旅でした。また、佐久病院を訪ねて、当時、三半規管が悪かった母の人間ドッグの予約もできませんでした。でも、どういうわけか、新婚旅行というところ、一番最初に浮かぶのは金が足りなかったという苦い思い出なのです。

二六日。家に戻ってからささやかなお祝いをしました。私が愛飲している発泡酒が冷蔵庫にあればいいなと思っていたのですが、ありませんでした。妻が用意してくれたのは酒です。八月七日に行われた「越後よしかわやつたれ祭り」の記念酒、『吉川の想い』をワイングラスに半分ほど注いで、ふたつのグラスをカチンとやりました。

## 吉小音楽祭、リズムにのって楽しさいっぱい

吉川小学校で24日、文化祭が開催されました。私も来賓として招かれ参加してきました。

児童の絵画展の方は3,4年生の作品をゆっくりと鑑賞させてもらいました。どの作品も遊びや探検などで感じたことを楽しく描いていました。

川谷の川での探検の模様を描いた作品では、真ん中の子どもが川の中で逆さに描いてありました。川の両岸には木が生い茂っているので、川から木や空を見ていたのでしょうか。それとも川の中でひっくりかえって見ているのかな。いずれにしてもとても楽しそうでした。

もうひとつ、弟が生まれた時の模様を描いた作品。病院のベッドの上でのパジャマ姿はお母さん。赤ちゃんを抱いてうれしそうです。「ほら、この子があなたの弟よ。かわいいでしょ」そう言っているのかな。描いた本人は赤ちゃんの小さな手にさわって、これまたうれしさいっぱい。お母さんのとなりにはお兄ちゃんかな。手にしているのはカメラでしょうか。とてもいい絵でした。(右上の写真)

音楽発表会。昨年は新型インフルエンザの発生で校内だけの取り組みでした。大勢の保護者、児童の家族が参加しての音楽祭は2年ぶりです。大きな体育館はいっぱいになりました。

発表は各学年ごと。「リズムに乗って元気よく」とか「言葉一つひとつを大切に」などテーマを決めて歌ったり、合奏をしたりしました。それも、踊りをつける、プラカードを掲げるなどの工夫がしてありました。

3年生のテーマは「探検の楽しさ」。気合を入れ、歌を歌いながら舞台上がりました。最初の曲は「バードウォッチング」でした。「あつ、タヌキがいた」「こっちにはリスがいる」という言葉も聞こえてきました。2曲目は「山の音楽祭」、「パチンコや弓矢もできるよ」「楽しいことを見つけてこれからも探検を続けよう!」「オーッ」。川などでの探検の様子がそのまま歌や演奏に出ていましたね。(上の写真)

音楽発表会は児童だけでなく、先生も保護者も一体となって取り組んでいます。招待された年は必ず参加するようにしていますが、今回もすばらしかった。

